

# 道路行政セミナー2013年2月号 NO.053 2013年2月22日発行 ポイント

## ◇◆特集◆◇

### ★安全で快適な自転車利用環境創出に向けて★ (国土交通省 道路局 環境安全課)

平成24年11月、国土交通省と警察庁は、国土技術政策総合研究所の調査・研究の成果等も踏まえ、『安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン』を策定しました。

ガイドラインは、ハード、ソフトの両面から幅広い取組が行われるよう、実施すべき事項を記載しており、本稿では、ガイドラインの主なポイントなどについて紹介いたします。

## ◇◆訴訟事例紹介◆◇

### ★自動車で行中、対向車を避けるため道路端の路側帯に寄ったところ、 路側帯に存在した切株に接触し、車両が損傷した事故について、 道路の管理瑕疵が争われた事例★ (国土交通省 道路局 道路交通管理課)

#### 【事案の概要】

軽自動車が市道を走行中、対向車を避けるため道路端の路側帯に寄ったところ、路側帯上に存在した切株に接触し、車両左部が損傷した事故について、この切株を撤去しなかったことは道路管理上の瑕疵にあたるとして、国家賠償法第2条1項に基づき損害賠償を請求。

#### 【判決要旨（一部認容）】

営造物としての道路の安全性は、道路交通法に従った運転をする限り安全であるというだけでなく、通常の走行で起こり得る事態に対処することのできる程度の安全性でなければならないと解される。本件切株は、路側帯内から一部が白線上にはみ出している上、根が張っているから、車体の一部が本件切株に衝突すると車体を損壊するだけの強度があると認められ、本件切株が車両の通行に危険を及ぼす物であることは明らかであり、本件道路は、通常有すべき安全性を欠くものと認められる。

## ◆◆TOPICS◆◆

### ★「震災時等における道路の被害情報共有システム」について★

(東京都 建設局 道路管理部 保全課／東京都 土木技術支援・人材育成センター)

東京都建設局は、災害時の情報収集と早期対策を支援するため、道路被害情報を迅速に収集し、効率的に共有化できる「レスキュー・ナビゲーション」を開発した。更に、レスキュー・ナビゲーションの機能を充実し、日常管理業務でも幅広く活用していくことで職員の習熟度を向上させ、災害への対応力を高めている。本稿では、レスキュー・ナビゲーションの機能や都の取組内容について紹介する。

.....

### ★合崎橋の架け替えに伴った高欄デザイン募集について★

(高山市 基盤整備部 建設課)

高山市には、沿線の高等学校や看護学校及び総合病院への通学・通院に長年利用され、特に県立斐太高校の卒業式の伝統行事である“白線流し”など風景の一部となっている「合崎橋」がある。この合崎橋の老朽化に伴った架け替えについて、「今まで以上に市民から親しまれ、愛される橋」となる事を願い、橋の高欄デザインを公募により決定した事例を紹介する。

## ◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆

### ★国道24号地元中学生との協働作業による落書き消しの取り組みについて★

(国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 和歌山国道維持出張所)

昨今、景観と住環境を害するいたずらによる落書きが後を絶たず対策に苦慮しているところ。そのような状況の中、一般国道24号において防護柵の落書き消しや歩道の清掃作業を道路管理者だけではなく、地元中学生との協働で実施したことにより高い啓発効果が得られた事例について紹介します。

.....

### ★出雲大社「平成の大遷宮」を控えての道路管理について★

#### ー「神話博しまね」開催による道路管理の取り組みー

(島根県 出雲県土整備事務所)

「神話博しまね」開催時における、推奨ルートの設定、通行規制、パーク&ライド方式

による無料シャトルバスの運行、道路工事の抑制等の対策について紹介します。また、島根県では、本年5月に出雲大社「平成の大遷宮」を控えており、「神話博しまね」での経験を活かしながら道路管理の実践を試みる予定です。

.....

### ★『歴史的な資源』を活かしたまちづくり★

(島根県 松江市 歴史まちづくり課)

本市の歴史まちづくりや道路環境整備のみならず、観光振興の面でも大きな成果を上げている「道路の美装化整備」「まち歩きマップ作成」「案内板設置」の3事業について紹介をします。

---

### ◆◆お知らせ◆◆

### ★平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語を募集します!★

(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

国土交通省では、毎年8月を「ふれあい月間」として、道路の正しい利用や道路愛護活動の推進に努めていますが、この一環として、平成25年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

## ◆◆編集後記◆◆

冬も佳境に入り、そろそろ春の日差しや暖かな気温が恋しくなってきましたが、冬は空気が凜と澄み、遠くの景色や夜空の星がよく見えるので、名残惜しくもあります。

冬の空気が澄んでいるのは、低い気温と乾燥により大気中に含むことのできるチリやホコリ、水蒸気の量が少なくなるためです。さらに、地表面の気温が低いため上昇気流が発生しにくく、チリやホコリが舞うことが少なくなることで、空気の透明度が高くなります。

世界一の高さを誇る電波塔、スカイツリー。

5月の開業当時は、その高さゆえに上方が霞んでみえる日が多くありましたが、初めて迎える冬は凜とした空気も一役買い、ライトアップした姿が一段と輝いてみえるように感じます。

竣工・開業前後、周辺を何度か歩いてみましたが、電線の地中化や道路幅の拡幅など、安全に歩けるように道路が整備されています。新たな観光名所となり、そのスケールの大きさに圧倒されるとともに多くの人で賑わいをみせていますが、スカイツリーをきっかけに地域が活気づく礎を道路整備が支えているのだと、改めて感じました。

皆様にご購読いただいている道路行政セミナー。

この仕事に携わるようになってから、ご寄稿いただいている道路管理者の方々の記事から知識を得たためか、道路の変化に自然と目が向くようになりました。

目に見える部分だけでなく見えない部分にも、限られた予算や用地の中で、地域の安全や活性化のため、さまざまな知恵や工夫が散りばめられて実現している道路整備ですが、こうした知恵や工夫がライトアップされる機会は少ないように感じます。ここでご紹介した知恵や工夫が詰まった取組みが、他地域の参考となり、地域ごとに特色のある道路空間整備の一助となれば嬉しく思います。

業務でご多忙の中、地域での取組み事例を紹介していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。(U)